

安塚区地域協議会だより

発行日：令和6年3月25日

発行人：安塚区地域協議会 会長 松苗 正二

第37号

ごあいさつ

安塚区地域協議会
会長 松苗 正二



我が家にも小学1年生になる孫がおります。私も65歳老友会デビューの1年生、季節、人生の移ろいを感じています。

地域協議会に入り、2期8年が過ぎようとしております。振り返りますと、1期目の4年間は、地域活動支援事業を通して、安塚の中には、文化や伝統をはじめとする様々な分野で、地域を盛り上げようと活躍されている方が多くいらっしゃることを知り、驚きを感じました。会社と自宅の行き来だけだった私は、何のためにここで生活をしているのだろうか、気づくきっかけになりました。行野集落は、上越の偉人・横尾義智さんの功績を偲び、ろうあ者との交流を毎年行い、朴の木集落は、小中学生との交流の中で学童と地域との連携、

人との学びをつくりあげています。また、そのほかの集落でも独自の工夫が行われ、足を運び、見聞きすればするほど、郷土には素晴らしい宝、人がおられる事に気づかされました。

2期目の4年間は、新しくなられた委員さんを含め、人口減少の中、地域が抱える問題点の解決にどう取り組んだらよいか、模索することとなりました。令和3年に市長が代わられ、地域活動支援事業が終了し、新たに地域独自の予算が導入されるといふ変化もありました。

安塚区地域協議会では、令和3年12月から、「住みやすい安塚の在り方について」というテーマで自主的審議事項を開始し、住民アンケートや区内の活動団体の皆様との意見交換会を実施しながら、検討を進めました。地域住民の皆様のご意見も多岐にわたる中、各委員は、皆様のご意見を無駄にせぬよう、家に持ち帰り、検討を繰り返しながら、意見書をまとめ、昨年末に提出することができました。

また、市長からの回答も好意的な内容でありましたが、まだまだ道半ばであり、今後の地域協議会で引き続きご検討をお願いいたします。

今期の4年間を見守っていただいた地域住民・団体の皆様、委員を支えて下さった事務局の方々、何より不甲斐ない会長を支えてくださった委員の方々に感謝を申し上げます、次の委員の皆様にはバトンをお渡ししたいと思えます。大変ありがとうございました。



第5期安塚区地域協議会委員

安塚区地域協議会活動報告会

現在の地域協議会委員は、令和6年4月28日をもって任期が満了となることから、4年間の活動報告と次期委員の公募方法等をお知らせするため、2月14日（水）に地域協議会活動報告会を開催しました。

初めに、地域協議会の活動報告では、主に令和3年12月から審議を開始した自主的審議事項について、これまでの取組経過を振り返りながら、市長へ提出した意見書の内容等を説明しました。参加者からは、意見書の内容に関するご意見や自主的審議事項に関するご質問等をいただきました。

次に、総合事務所から、次期委員の公募期間や選任の流れについて、お知らせがありました。次期委員の公募期間は、3月9日（土）から3月21日（木）までです。

最後に、今年度地域独自の予算を活用して事業を実施した、「NP O雪のふるさと安塚」と「山のう

えの雪まつり実行委員会」の2団体から、事業の内容等を紹介していただきました。参加者からは、取組に対する期待の声が寄せられました。

安塚区地域協議会の活動状況は、市のホームページに掲載されていますので、ぜひご覧ください。



安塚区地域協議会活動報告会の様子

安塚区地域協議会委員 任期満了を迎えて・・・

副会長 石田 ひとみ

地域協議会4年間の活動として、市からの諮問に対する答申のほか、「住みやすい安塚の在り方について」というテーマで、自主的審議事項の検討を行ってきました。

地域住民の皆様へのアンケートや、安塚区に関わりのある方々の意見交換会で、色々なご意見をいただきました。地域の課題として、検討を重ねた結果、今すべき優先事項を「リバーサイドロードの整備と管理」に絞り、年度内に市長へ意見書を提出することができました。

今後の整備と管理、利活用に向けて、動き出すことができたのではないかと思います。

任期4年間の活動に対する皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

池田 裕夫

令和2年は、超少雪とコロナ禍の異常事態の中で始まりました。5月の第1回地域協議会で任命書を受領してから、何とか4年間の任期を終えることとなります。

安塚区の地域活性化に向けて、自主的審議事項の方向性を検討するため、中学生以上の全地域住民を対象にした住民アンケートと、区内の各団体等を対象にした意見交換会を行いました。

住民アンケートの回収率は8割を超え、想定を上回る結果で驚くほどでした。

毎月の定例会のほかに、月1、2回の小委員会を開催し、アンケートの内容等について、検討を行いました。一つの設問を検討するのに、1回の会議の時間を丸々費やすほど、入念な議論を行ったことが印象に残っています。

集計・分析したアンケート結果は、今後の「住みやすい安塚の在り方」を考える上での貴重な財産になると感じています。

池田 康雄

4年前に初めて地域協議会委員になりましたが、毎月の会議資料を通して、上越市や安塚区に関する様々な情報に接し、勉強する機会を得ることができました。

良かったことは、自主的審議事項において、住民アンケートで関心の高かった、「リバーサイドロードの整備と管理」に関する意見書を提出できたことです。今後、花壇の管理方法など、具体的な内容の肉付けが必要です。

安塚区の人口は、現在も自然減と社会減が進行、加速している状況ですが、年始の大きな地震では、幸いなことに区内の被害は少なく、安塚区は安心して暮らせる地域であると改めて実感しています。

小松 光代

任期当初の頃は、コロナ禍で自粛の真只中でした。地域活動支援事業を活用した取組も中止・縮小を余儀なくされ、残念な時期がありました。

「住みやすい安塚の在り方について」のアンケート実施の際は、地域の皆様にご協力いただきました。その結果を基に実施した区内の様々な団体の方々の意見交換会は、とても貴重な時間でした。

リバーサイドロードを実際に何度も歩いて現状を確認し、小委員会で協議を重ね、意見書の提出につなげることができました。

任期中は、地域の皆様に大変お世話になりました。感謝申し上げます。

新保 良一

地域協議会委員としての4年間で振り返ると、自身の無知や未熟さに羞恥心さえ覚えることもありましたが、しかし、これまで知らなかったことも多く学ばせていただきました。

年々人口が減少し、多方面で統合等が進む昨今、これを何とか食い止めたいと、地域活動支援事業や地域独自の予算を活用し、地域活性化のために頑張る方々がいます。

す。

これらの方々が、今後も事業を続けていくことができるようにサポートするとともに、地域の皆様との話し合いを通して、地域の課題に取り組んでいくことが、これからの地域協議会委員に求められる役割であると考えています。

中村 真二

私は、平成19年から上越市民になった、所謂「旅の人」です。

自分が住む安塚区のために何か役に立つことをしたいと考え、平成28年に地域協議会委員に立候補させていただきました。以来、2期8年間、微力ながら、委員を務めさせていただきました。

地域の課題、人口減少や高齢化といった問題はとても難しく、画期的な解決策は無いのかもしれませんが、しかし、熱心な委員の皆さんと、期間中真剣に考えることができたのは、とても良い体験となりました。多くの経験や学びをいただきまして、大変ありがとうございます。

ございました。

外立 正剛

安塚区地域協議会委員になって、4年間が経過しました。地域協議会委員は、何をしなければならいいのかという疑問を持って活動することもありました。

市からの諮問に対して、地域住民としての考え方で答申を行うという、簡単な仕事であると思つて委員になりました。しかし、色々な諮問に対して、地域住民がどのような考えを持っているのか、分からなくなることもありました。

また、安塚区には大きな課題が多くあるのに、その課題さえ見いだせなくなり、地域住民の中で課題意識が希薄化し、成り行きになつていくことが問題であると感じました。高齢化と人口減少が拍車をかけているのかもしれませんが、自分たちの課題なのに、見いだせない私たちも悪いように思われます。

上越タイムスでは、よくほかの

地区の地域協議会の活動が紹介されておられ、その記事を読む度に安塚区はどうだろうかと自分に問いかけていました。

最初は、自主的審議事項がどのようなものか分かりませんでした。が、月日が経ち、2年目を降に少しずつ理解が深まり、審議についていけるようになりました。地域住民との対話が必要であるとの思いから、アンケート調査も行いました。長時間審議を重ね、やっと一定の結論をまとめ、市長に意見書を提出することができ、少しずつですが、前に動き始めました。

これからも地域住民の皆様と対話を重ねることによって、物事が解決していくと感じています。若い人たちの意見交換の場を設けることも必要であると思います。

4年間の活動を振り返ると、十分でなかった面もあると思います。が、これからの地域協議会の活動に期待します。



秦 克博

自主的審議事項として、「住みやすい安塚の在り方」について、議論を重ねてきました。

アンケートや意見交換会により、様々な意見を聞かせていただきました。その中でも、春には桜、秋には柳葉ひまわりが咲き誇るリバーサイドロードが、安塚区の魅力であるという意見が多数ありました。そこで、リバーサイドロードの一層の整備と管理の促進をお願いするべく、意見書を取りまとめ、市長に提出しました。ぜひ皆様方からご活用いただけますようお願い申し上げます。活動報告とさせていただきます。

松野 修

最近楽しいことがありましたので、紹介させていただきます。NPO雪のふるさと安塚の主催で行われた歌声喫茶です。私は初めての参加でしたが、なんとこれまでに12回も開催されています。演奏者のギターに乗せて、11曲も歌っ

てしまいました。あつという間の1時間30分でした。安塚に住んでいて、楽しみがまた一つ増えて嬉しいです。

高齢化が進んでいる安塚ですが、楽しいと感じる試みを皆さんと一緒にできればいいなと思っています。4年間ありがとうございました。

山岸 重正

初めて地域協議会委員に就任してから、20年になるうとしています。私は、地域と市政のパイプ役に少しでもなればいいと、このことを自分に言い聞かせて、これまでやってまいりました。少しはできたと思っています。

これから委員になられる皆様方には、市からの諮問に対する答申、自主的審議事項など、色々やっていかなければならないと思います。が、まずは、地域と市政のパイプ役、これをお願いいたします。20年間、地域の方々、委員の皆様、ありがとうございました。

吉野 誠一

任期を大過なく全うできたことは、皆様方のご理解、ご支援の賜物と感謝申し上げます。

振り返ると、中学校統合が最大の事件でした。区をまたぐ統合は、自治区再編の端緒ととらえ、強い警戒感を持って受け止めました。教育のみに固執せず、総合的に議論すべき地域問題であると指摘し、熟議するよう主張しました。

しかし、行政は、異論、反論を悉く封じたうえに、地域問題に拡大、発展させることを断固拒否したため、議論は低調を極めました。地域協議会も同様で、危機意識の共有すらできないまま、「統合止むなし」と結論付けました。

地域協議会は、区の意思を決定する機関です。更なるご指導を期待し、振り返りいたします。

